

教科	技術・家庭	科目	家庭科	単位	1	年次	1年次
使用教科書	技術・家庭 家庭分野(教育図書)						
副教材							

## 1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

・授業で考える場面では自分の生活と照らし合わせ、自分のこととして進んで考えてみましょう。また、積極的に経験や考えを発表し、お互いの考えを共有し深めていきましょう。・実習での作業では、毎回の授業の課題を安全に気を付け丁寧に進めていくことを目標としましょう。・授業で習った知識や技能を、日常生活の中で積極的に実践してみましょう。一人でやることができるようになることが、最終目標です。

## 2. 学習の到達目標

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

## 3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 知識・技能	b: 思考・判断・表現	c: 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 主 旨	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評 価 方 法	ワークシート、定期テスト、発表、行動観察	ワークシート、定期テスト、発表、行動観察	ワークシート、定期テスト、発表、行動観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	家族・家庭生活	【家族・家庭や地域とのかかわり】家族の一員としてできることや、家族関係をより良くする方法を考える。家庭生活と地域の関わりを知る。		○	○	自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて、家庭や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付き、家族・家庭の基本的な機能について、家庭生活は地域との関わりで成り立っていること理解している。	ワークシート、定期テスト、発表、行動観察
5							
6		【幼児の生活と家族】幼児の体と心の発達、生活習慣の身につけ方、生活の特徴、遊びと発達のかかわり方を知る。幼児の発達を支える大人の役割を考える。	○	○	○	幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解し、考え工夫できる。	
7							
8			【健康と食生活】食事の役割、健康によい食生活について考える。		○		
9							

10	食生活	【何をどれだけ食べたらよいか】栄養素の種類とはたらき、中学生に必要な栄養の特徴を知る。食品に含まれる栄養素を調べる。1日に必要な食品の種類や量を知り、1日分の献立作成をする。	○	○	○	栄養素の種類とはたらきが分かり、食品の栄養的な物質について理解している。中学生の1日に必要な食品の種類と量が分かり、献立を自分で考え工夫することができる。
11						
12						
1		【調理と食文化】食品の選択と購入について考える。購入した食品の適切な保存方法を知る。	○	○	○	日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し適切にできる。
2						
3						

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材で全ての観点について評価することとなるが、学習内容・小単元の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点について○を付けている。